

7月11日は「ラーメンの日」🍜

日本ではじめてラーメンを食べたとされる、水戸黄門の誕生日であることから、この日になったそうです！(諸説あり)

暑い日にアツアツのラーメンを食べるのはいかがですか？



0〜5歳

ラーメンのかわ
赤川 明／作・絵 講談社 2004.2

予約用資料ID 1005696883

この川、川は川でも、ラーメンの川なのです。ラーメンの麺が流れる川には、とっても大きなチャーシューやなんとがっぱい！



小学1〜2年生

かいけつゾロリ あいつぞラーメンたいけつ
原ゆたか／さく・え ポプラ社 2001.12

予約用資料ID 1005447980

いちばんおいしいラーメンはどれか？最強のらーめんをもとめて、ゾロリの大作戦がはじまりました。ゾロリ究極のグルメマッチ！



小学3〜4年生

イチからつくるラーメン
奥村 彪生／編、高部 晴市／絵 農山漁村文化協会 2023.1

予約用資料ID 1010191508

ラーメンは日本で生まれた料理で、中国の麺料理がヒントになっています。戦後、いろんな場所でラーメン屋さんができて、たくさんのお味が生まれました。基本を覚えれば、自分好みにアレンジもできますよ。



おはなし会 7月のおはなしの森 参加無料

場所：県立図書館3階おはなしの森 時間：10:30〜(約30分)

- 7月5日(土)世界の絵本読み聞かせ会
- 7月17日(木) 定例おはなし会
- 7月24日(木) えいごでおはなし会

対象は未就学児です♪
どなたでもご参加ください！



図書館からのおしらせ

利用案内

開館時間：9時〜20時（火曜・年末年始・特別整理日休館）
休館日：毎週火曜日、年末年始、特別整理期間
※図書館専用の無料駐車場はございません。
お車でお越しの際は、周辺の有料駐車場をご利用ください。



来館される皆様へお願い



- ・館内では飲食禁止ですが、倒れても中身がこぼれない容器に入れた飲み物は館内で飲むことができます。（5階郷土資料室を除く）
- ・携帯電話等通信機器はマナーモードに設定し通話をされる際は館内（4階・5階）に設置された電話ボックスをご利用ください。
- ・館内は撮影禁止です。

フレッシュな情報はここから！

沖縄県立図書館 公式X (旧Twitter)
QRコード



フォロー数
全県立図書館
No. 1!

沖縄県立図書館
公式Facebook
沖縄県立図書館
公式YouTube



調べものの相談受付中！



文章生成AIをご活用のみなさま！
生成された文章の根拠をお探ですか？
調べる方法が分からない場合は
図書館に聞くこともできますよ♪



調査・相談（レファレンス）サービス
について
詳細は沖縄県立図書館HPをご覧ください。

ごあいさつ 梅雨が明け、夏がやってきました！

沖縄は梅雨が明け、青空がまぶしい夏本番の季節となりました。気温の高い日が続き、日差しも日に日に強まっています。とくに7月は、湿度も高くなるため熱中症のリスクが非常に高い時期です。屋内外を問わず、こまめな水分補給や休息、そして体調の変化に気を配りながらお過ごしください。図書館では、静かな環境で読書や調べ物を楽しむことができます。夏のひととき、本の世界に触れて心に涼をとる時間を過ごしてみませんか？皆さまのご来館をお待ちしております。



放送大学沖縄学習センター公開講演会
イベント 参加無料 「老年学への招待-生涯発達から人生を考える-

放送大学

客員教員による公開講演会
in沖縄県立図書館

老年学への招待
—生涯発達から人生を考える—

生涯発達の視点から正しい老化の過程を理解し、幸福度を高めるため人生100年時代を豊かに生きる。

1. 生涯発達の視点から理解する正しい老化の過程
2. 生きがいと幸福感を高める影響要因
3. 人生100年時代を幸せに生きるための必要な要件
以上のことについて、これまでの研究知見や調査研究の結果を踏まえて、人生を豊かにするための情報を共有する。


沖縄学習センター客員教員
学習開始日：毎週木曜日
13:00〜17:00
学生からの学習相談や学習支援も実施しています。
専門分野：老年学、英語教育

講師 下地敏洋氏(元琉球大学教授)

日時 7/5 14:00-15:30

会場 沖縄県立図書館3階ホール

定員 50人 (事前申込要)

参加費 無料

放送大学沖縄学習センター
〒908-895-5952
okinawa-h@ouj.ac.jp
もしくはQRコードから申し込めます。



7月5日(土) 14:00〜15:30 会場：3階ホール

講師
下地 敏洋氏 元琉球大学教授

定員
先着50名（申込多数の場合締め切ります。）

対象者
どなたでも参加可能です。

申込方法
電話098-895-5952（放送大学）
メール okinawa-h@ouj.ac.jp
右QRコード

ご報告 県立図書館ボランティア活動開始！

6月14日、図書館ボランティアの登録証交付式が行われ、新たに11名を含む35名が活動を開始しました。ボランティアは週1〜2回程度、書架整理や図書の装備・修理、展示やイベント補助などを担当し、図書館運営を支えます。地域の生涯学習の一環として、利用者に快適な環境を提供する重要な役割です。図書館は皆さまのご協力に感謝するとともに、皆さまが無理なく楽しく活動できるよう支援していきたいと思ひます。



図書館見学 オキナワインターナショナルスクール

5月9日、オキナワインターナショナルスクールの児童23人が元気いっぱいに図書館見学に来館しました。まず探究テーマ「権利と義務」について楽しく学んだ後、職員による紙芝居の読み聞かせを行いました。最後に広域サービス室で、「沖縄県内どこにいても本が読める」県立図書館のサービスについて説明を受け、図書館の魅力をたっぷり知る時間となりました。見学の後日、児童の皆さんから職員一同へお礼の手紙をいただき、とても嬉しい気持ちになりました。皆さまのご来館と温かいお気持ちに心より感謝いたします。



登録スタッフ おすすめ

新着図書紹介

沖縄県立図書館では、毎週水曜日に新着図書が新着図書コーナーに展示されます。ここでは「県立図書館の本のデータ登録」をしているスタッフが「これぞ！おすすめ！」と感じた本をご紹介します。※こちらで紹介された本は新着図書コーナーに展示した後、それぞれ本棚に戻されます。貸出、予約は資料コードをご活用ください。

郷土資料（琉球・沖縄関係資料）5階

一般図書



「〇でも、でもないもの！」「ARTと私」
正解のない「教育普及」展
出版社：沖縄県立博物館・美術館
出版年：2025(令和7).3 資料コード：1010405593
「美術作品をどのように見たらよいか？」という疑問に寄り添い、「さわる」「きく」「みる」「むきあう」の4つの視点で作品を紹介した展覧会の記録集です。鑑賞後の「つたえる」も掲載し、見る人の感じ方を大切にしています。
※令和6年度に沖縄県立博物館・美術館で開催された美術企画展の記録です。



京都出身者の沖縄戦 上杉 和央／編
出版社：京都府立大学文学部歴史学科
出版年：2025(令和7).3
資料コード：1010284089
2025年は戦後80年にあたる年で、戦争を振り返る大切な機会となります。沖縄戦で命を落としたのは沖縄県民だけではなくありません。本書では、沖縄戦に従軍した京都出身の兵士について、ご遺族から貴重なお話をうかがい、資料をご提供いただく中で得られた調査成果の一部をまとめています。



Born again Uchinanchu Karleen Chinen／[著]
出版社：Pacific Travelogue, Inc. 出版年：c2024
資料コード：1010470837
本書は、当館所蔵の「Uchinanchu：A history of Okinawans in Hawaii」の続編として、1980年から2000年にかけてのハワイ興業コミュニティの動向を紹介しています。
2022年6月には、「Born Again Uchinanchu」プロジェクト（ハワイ沖縄連合会）と沖縄県立図書館が協働で展示会を開催しました。沖縄移民の歴史や文化、ハワイの多文化社会に関心のある方におすすめの一冊です。



2024年の本部町営市場 橋本 倫史／編
出版社：HB BOOKS、トゥーヴァージンズ(発売)
出版年：2025(令和7).3
資料コード：1010226759
2024年9月、突然解体が発表された沖縄本島・本部町営市場。そこに店を構える23軒の店主一人ひとりの語りから、本部町、そして沖縄が歩んできた近代の姿が浮かび上がります。暮らしの記録を通じて、今の私たちににとっての「まち」とは何かを考えるきっかけとなるでしょう。
まちに暮らす人びとの声に耳を傾け、土地に流れてきた時間に想いを寄せながら、まちとは何かを問い直す一冊です。



図書館を学問する なぜ図書館の本棚はいっぱいにならないのか
佐藤 翔／著
出版社：青弓社 出版年：2024.12
資料コード：1010434775
なぜ図書館は月曜日に閉まっているのか、子どもと行きたい図書館とはどんな場所か。図書館で働く人や日々利用している人が普段は気にしない疑問について、エビデンスに基づいた視点で考える方法や、思考の道筋をわかりやすくクチャーします。
図書館の仕組みや利用方法に興味がある方、教育関係者や子どもと図書館を楽しみたい親御さんにおすすめです。



『孤独のグルメ』巡礼ガイド
週刊SPA!『孤独のグルメ』取材班／著 完全版
出版社：扶桑社 出版年：2025.1
資料コード：1010436952
テレビドラマ「孤独のグルメ」シーズン1～10と劇場版で井之頭五郎が訪れた31店舗の名店を紹介するガイドブックです。
主演・松重豊さんと原作者・久住昌之さんのスペシャル対談も収録しています。（料理価格は2024年11月時点の情報です。）
ドラマのファンや美味しいお店を探している方、食べ歩きが好きな方におすすめの1冊です。



限界を打ち破る大谷翔平の名言 SHUHEI OHGAMI
出版社：はる出版 出版年：2024.8 資料コード：1010438537
大谷翔平選手は2024年前半戦で3冠王を狙う快進撃を続け、「史上最高の野球選手」の一人として広く認められています。
本書は野球を始めた子ども時代から今日まで、折に触れて大谷選手が口にした言葉の中から選んだものを紹介しています。
大谷選手のプレーに感動した方にぜひ読んでほしい内容です。
野球ファンはもちろん、挑戦や成長を大切にするすべての人におすすめの1冊です。



酒を主食とする人々 エチオピアの科学的秘蔵を旅する
高野 秀行／著
出版社：本の雑誌社 出版年：2025.1
資料コード：1010438578
本場にそんなことがあるのか？世界の辺境を旅する高野秀行さんも驚いた、「朝晩焼、一生大人も子どもも胎児までも酒を飲んで暮らす」幻の酒飲み民族の実態を紹介します。科学の常識を超えた暮らしぶりや、出国不能や救急搬送などのトラブルが続くなか、史上最もマヌケなロケ隊がその謎に迫る冒険の記録です。
珍しい文化や驚きの民族の生活に興味がある方、冒険ドキュメンタリーが好きな方におすすめの1冊です。

展示一覧

図書館内で予定されている展示をご紹介します。

3階展示

■沖縄県建設業協会 フォトコンテスト～島の魅力～上位入賞作品展示 7/14
■沖縄県生活安心安全課 令和7年夏の交通安全運動パネル展 7/9～7/21
■保健医療福祉事業団 グリーンリボン沖縄 臓器提供の意思表示普及啓発展示 7/16～7/28
■沖縄県環境整備課？ 美ら島環境美化促進月間パネル展 7/16～7/28
■沖縄県立博物館・美術館（おきみゅー）世界の珍しい種展 手塚治虫 ブラック・ジャック展
■生涯学習推進センター 美ら島沖縄学講座紹介展示
（講座内容に応じて展示内容が変わります。）～7/7・7/9～7/21・7/23～8/18
■JTA JTAあおぞら図画コンクール作品展示 7/9～7/21
■沖縄県理学療法士協会 理学療法に関するパネル、ハンドブックの展示 7/2～7/28
■沖縄県薬務衛生課 食品食肉月間展示 7/30～8/25
■沖縄観光コンベンションビューロー 沖縄の観光に関する展示7/30～8/25
自主企画■セタ展示 7/2～7/7 ■アメリカ世の沖縄(アイススケート場、ベストソーダ)7/9～7/21
自主企画■県立図書館で知ろう！21世紀ビジョン基本計画 7/2～7/29
■グッジョブセンター紹介展示 ■教科書展示～7/7（交流ルーム）
■沖芸 Book List10選 Vol.16 ～9/29 ■沖芸サテライトミニギャラリー 島袋克史陶展 ～9/8
自主企画■調査・相談サービス紹介展示 スマート農業他～8/4 自主企画■芥川・直木賞展示 7/9～7/21

展5階

自主企画■戦争関連展示2025 戦後80年 平和を考える ～7/7

※展示によっては日程等変更がある可能性もあります。ご注意ください。

沖縄なんでもQ&A



No.166

Q. 戦前に沖縄の特産品だったアダン葉帽子（パナマ帽子）の歴史について知りたい

A. アダン葉帽子は、アダン（阿旦）の葉を原料とする夏帽子のことで、沖縄パナマまたは琉球パナマとも呼ばれました。パナマ帽子は本来エクアドル産のパナマ草を原料としますが、アダン葉で代用したものが戦前の沖縄県の特産品となって盛んに海外へ輸出されました。

アダン葉帽子の発展には、寄留商人*が大きく関わっています。1900（明治33）年12月に鹿児島系寄留商人の児玉利吉がそれまで利用価値の低かったアダン葉を使った煙草入れや鞆などを製造する琉球貿易商会を設立。また1901年7月には沖縄阿旦葉製造株式会社（社長 今帰仁朝和、取締役 肥後孫左衛門・護得久朝常）が創業しています。この会社で技手をしていた岡山県出身の寄留商人片山徳次郎は、1902年2月にアダン葉の漂白法で特許を取得し、翌年には自身で片山パナマ帽子製造場を立ち上げました。片山は1904年11月にさらにアダン葉の漂白法で特許を取得し、1908年9月には「片山式阿旦葉帽子」で実用新案を取得してパナマ帽子製造法を確立。帽子製造は、急速に沖縄県の主要な産業の一つに成長しました。アダン葉を利用した製造所が乱立しましたが、品質が低かったために多くが淘汰されました。

しかし、原料となるアダンの乱獲により、アダン葉による帽子製造はほどなく行き詰まりを見せ始めます。そのような中1912（明治45）年3月に愛媛県出身の谷村清衛（谷村商会、東京府）**、また1913（大正2）年には鹿児島系寄留商人の山之内喜左衛門（山之内帽子商会、沖縄県）が、それぞれの方法でアダン葉に代わる材料として紙撚（こより）を利用した方法を開発しました。供給量が多く安価なために、以降は紙撚帽子（紙撚パナマ）が主流となり、帽子産業は再び活況を呈して大正～昭和初期には全盛期を迎えました。1916年の沖縄県からの移出貨物では、黒糖に次いで帽子が2位（約244万円）の位置を占め、従業者も多数いました。沖縄県内で規模の大きかった日本夏帽株式会社（谷村らが1913年4月に設立）の沖縄出張所には、1914年時点で沖縄県内に職工が約5万人いたとされます。

帽子産業は輸出に頼っていたため、海外情勢に左右される不安定さを持っていました。第一次世界大戦勃発による運輸や輸入規制などの影響により、アダン葉帽子に始まる沖縄の帽子産業は姿を消していくこととなりました。（横山）

* 明治から昭和初期に沖縄で経済活動に従事した他府県出身の実業家のこと。
** 谷村の特許については、特許情報プラットフォームJ-PlatPat（<https://www.j-platpat.inpit.go.jp/c1801/PU/JP-21829/15/ja>）で閲覧可。

参考資料

『沖縄県史 第1巻 通史』沖縄県教育委員会 1976年 pp.507-510
『沖縄県史 別巻 沖縄近代史辞典』沖縄県教育委員会 1977年 pp.5-6
『沖縄県勢要略』沖縄県内務部 1911年 pp.1-7
『沖縄大百科事典 上巻』沖縄タイムス社 1983年 pp.61-62, 716
『沖縄大百科事典 中巻』沖縄タイムス社 1983年 p.157
『沖縄大百科事典 下巻』沖縄タイムス社 1983年 pp.238, 293-294, 754
『東京社会辞彙』北川由之助編 毎日通信社 1913年 タpp.55-56（国立国会図書館デジタルコレクションで閲覧可）
『日本百工場』工業之日本社 1914年 pp.296-298（国立国会図書館デジタルコレクションで閲覧可）
『那覇市史 通史篇 第2巻 近代史』那覇市役所 1974年 pp.367-369
『近代沖縄の寄留商人』西里喜行著 ひるぎ社 1982年 pp.59-61, 98-99
『日本全国諸会社役員録』牧野元良著 商業興信所 1902年 下編 p.885（国立国会図書館デジタルコレクションで閲覧可）
望月雅彦「片山徳次郎と阿旦葉帽子製造業―資料紹介と若干の考察」『博友』第7号 沖縄県立博物館友の会 1993年 pp.86-100
『琉球新報』1904年8月1日付3面, 1913年2月1日付2面